

## いばらきネットモニター 茨城県警察の広報活動について 2025 結果

### 1 調査目的

茨城県警察の広報活動について、県民等の認知度、関心事項を調査・分析し、今後の効果的な広報活動に活用します。

### 2 結果の概要

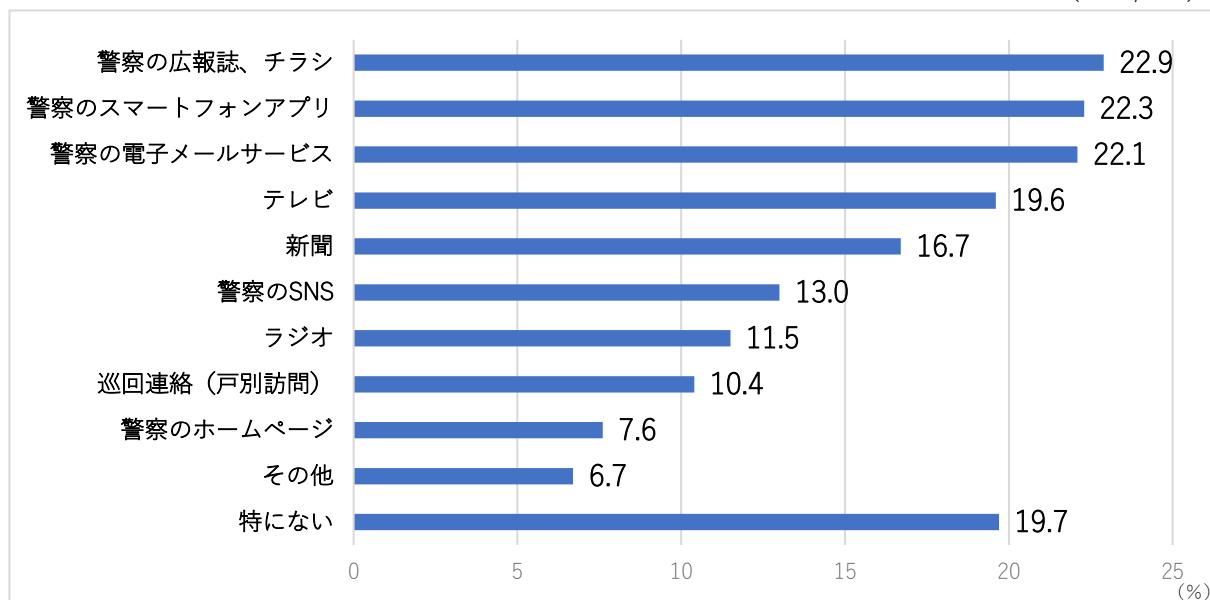
- ・警察からの情報の入手方法については、「警察の広報誌、チラシ」、「警察のスマートフォンアプリ」、「警察の電子メールサービス」の利用割合が同程度で高く、閲覧検索が必要な「警察のホームページ」の割合は低い。
- ・提供して欲しい情報では、自身により身近になる「不審者情報」、「事件事故発生状況」が突出して多い。
- ・「SNS型投資詐欺、SNS型ロマンス詐欺」、「交通事故防止対策」について広く認知されているところ、さらに防止のための情報発信を行う必要がある。

#### 【問1】(警察からの情報の入手方法)

茨城県警察では様々なツールで防犯や交通安全などの情報を発信しています。

あなたは、お住まいの自治体の警察が広報する情報を、どのような方法で見聞きしていますか。次の中から、あてはまるものを全て選んでください。

(n=1,134)

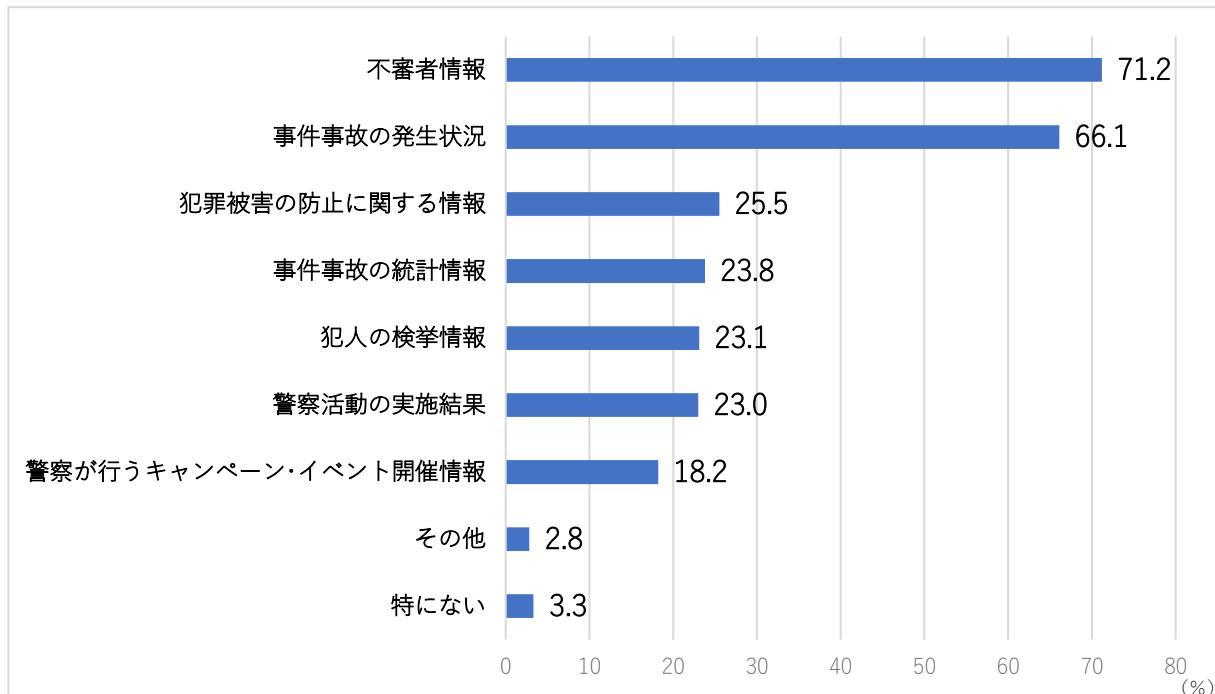


- 住まいの自治体の警察が広報する情報の入手方法としては、「警察の広報誌、チラシ」が22.9%で最も高く、次いで「警察のスマートフォンアプリ(例:防犯アプリいばらきポリス)」(22.3%)、「警察の電子メールサービス(例:ひばりくん防犯メール)」(22.1%)であった。
- 「その他」(6.7%)として、次のような意見が挙げられた。(計76件)
  - ・行政区の回覧
  - ・地区の放送
  - ・デジタルサイネージ

## 【問2】(提供してほしい情報)

あなたは、警察にどのような情報を提供してほしいと思いますか。次の中から、あてはまるものを最大3つまで選んでください。

(n=1,134)

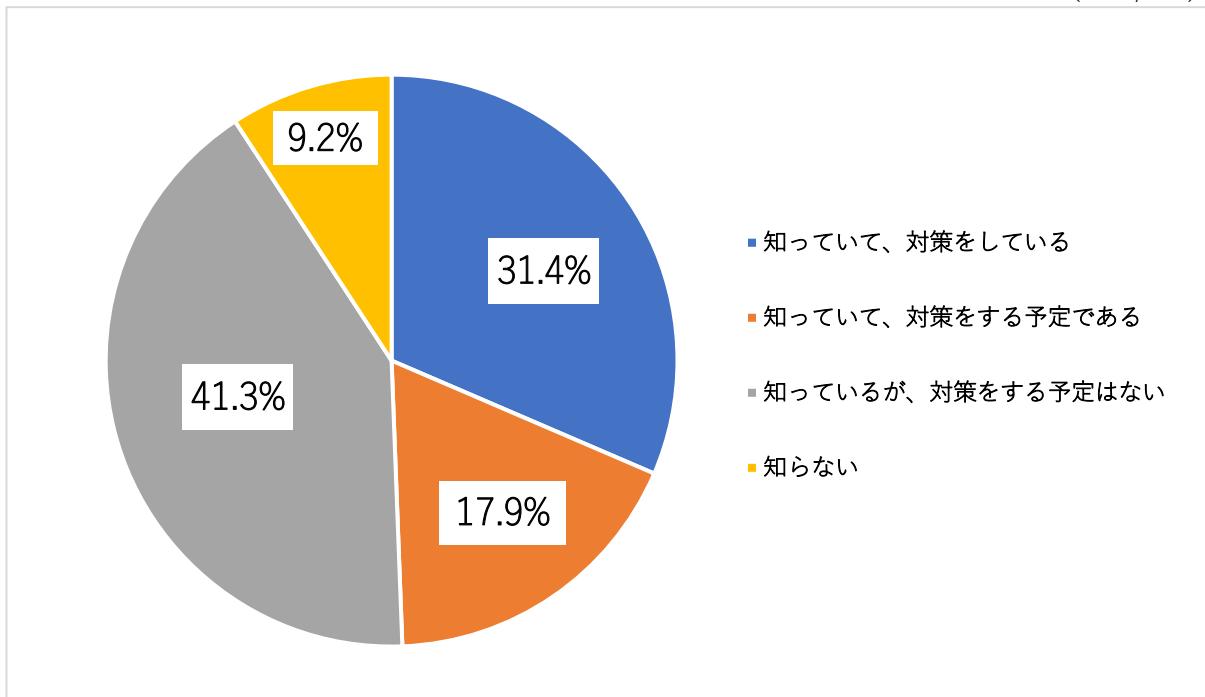


- 警察に提供してほしい情報としては、「不審者情報」が71.2%で最も高く、次いで「事件事故の発生状況(例:強盗事件や交通事故防止の発生日時、場所)」が66.1%であった。
- 「その他」(2.8%)として、次のような意見が挙げられた。(計32件)
  - ・詐欺犯罪の最新情報と対策
  - ・ネット犯罪の情報
  - ・災害への迅速な対応のための情報

### 【問3】（住宅侵入窃盗防止対策の認知度・実施状況）

あなたは、「住宅侵入窃盗」の被害防止対策（補助錠、ガラス用防犯フィルムの利用など）を知っていますか。また、それらの対策を行っていますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

(n=1,134)

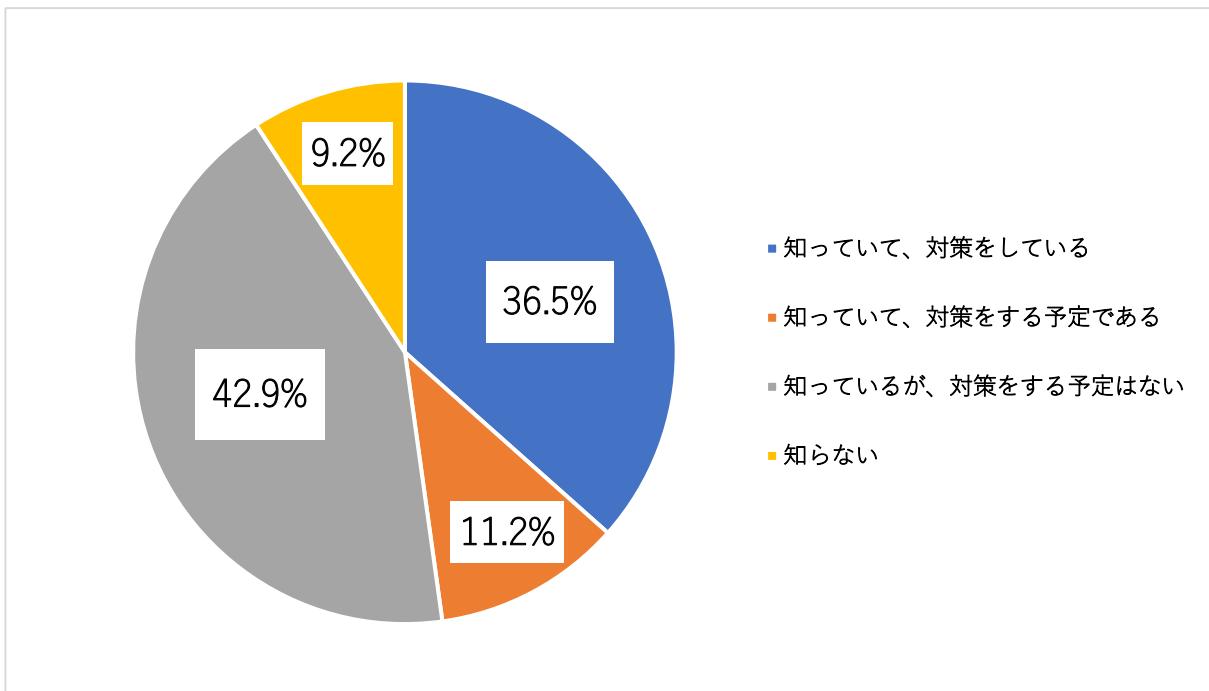


- 住宅侵入窃盗防止対策の認知度・実施状況について、「知っていて、対策をしている」(31.4%)、「知っていて、対策をする予定である」(17.9%)、「知っているが、対策をする予定はない」(41.3%)を合わせた【知っている】と回答した割合は9割を超えたが、うち約4割は、対策を知っていても実施する予定がない。
- 「知っていて、対策をする予定である」(17.9%)、「知っているが、対策をする予定はない」(41.3%)、「知らない」(9.2%)を合わせた【対策していない】は68.4%であり、半数以上の方が現在対策を実施していない。

#### 【問4】（自動車、自転車窃盗防止対策の認知度・実施状況）

あなたは、「自動車、自転車窃盗」の被害防止対策（ハンドルロック、タイヤロック、防犯登録など）を知っていますか。また、それらの対策を行っていますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

(n=1,134)



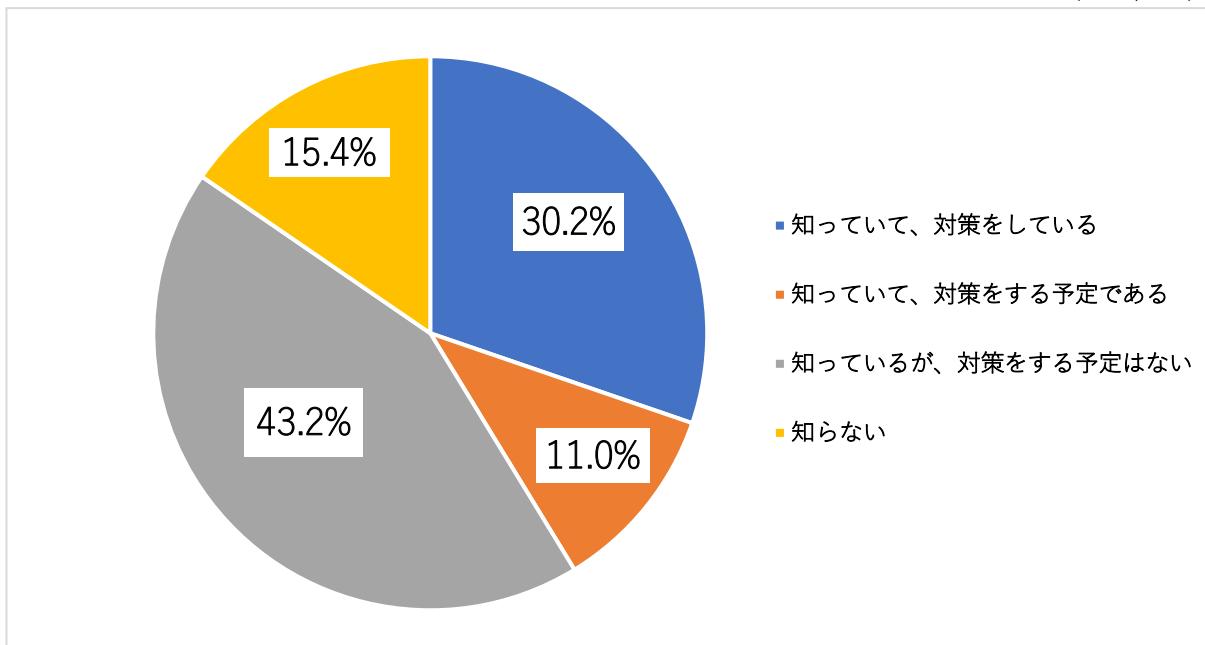
- 自動車、自転車窃盗防止対策の認知度・実施状況について、「知っていて、対策をしている」(36.5%)、「知っていて、対策をする予定である」(11.2%)、「知っているが、対策をする予定はない」(42.9%)を合わせた【知っている】と回答した割合は9割を超えたが、うち約4割は、対策を知っていても実施する予定がない。
- 「知っていて、対策をする予定である」(11.2%)、「知っているが、対策をする予定はない」(42.9%)、「知らない」(9.2%)を合わせた【対策していない】と回答した割合は 63.3% であり、半数以上の方が現在対策を実施していない。

### 【問5】(金属窃盗防止対策の認知度・実施状況)

あなたは、「金属窃盗」の被害防止対策(防犯カメラ、センサーライトなど)を知っていますか。

また、それらの対策を行っていますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

(n=1,134)



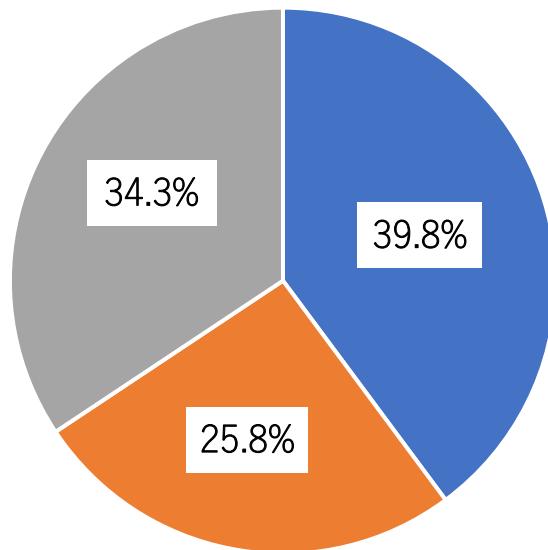
- 金属窃盗防止対策の認知度・実施状況について、「知っていて、対策をしている」(30.2%)、「知っていて、対策をする予定である」(11.0%)、「知っているが、対策をする予定はない」(43.2%)を合わせた【知っている】と回答した割合は約8割であったが、うち約4割は対策を知っていても実施する予定がない。
- 「知っていて、対策をする予定である」(11.1%)、「知っているが、対策をする予定はない」(43.2%)、「知らない」(15.4%)を合わせた【対策していない】と回答した割合は69.7%であり、半数以上の方が現在対策を実施していない。

### 【問6】(警察官の巡回連絡による指導実施の認知度)

あなたは、警察官が「巡回連絡(※1)」において、防犯指導等を行っていることを知っていますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

(※1)「巡回連絡」とは、制服警察官が家庭や事業所を訪問し、犯罪や事故に対する防犯指導、警察に対する意見・要望の聴取を行う活動で、非常時に備えて緊急の連絡先や住民の異動等についてもお伺いしています。

(n=1,134)



- 巡回連絡を知っていて、防犯指導等をしていることも知っている
- 巡回連絡を知っているが、防犯指導等を行っていることは知らない
- 巡回連絡を知らない

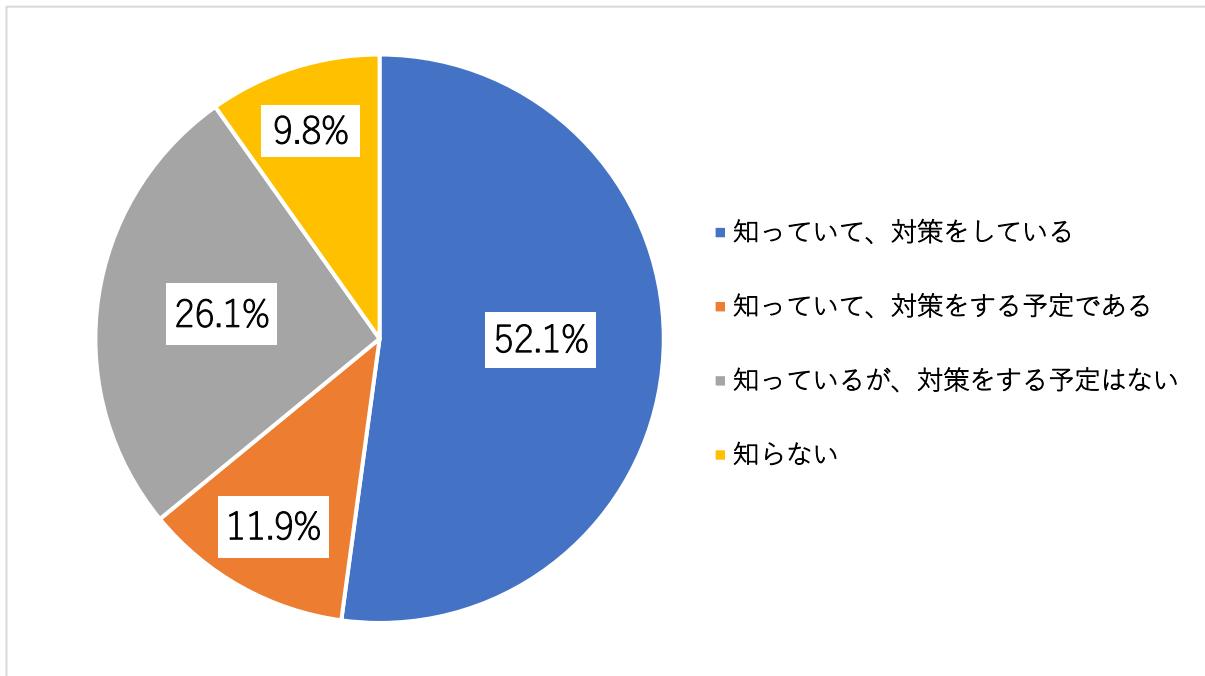
- 警察官の巡回連絡の認知度について、「巡回連絡を知っていて、防犯指導等を行っていることも知っている」(39.8%)、「巡回連絡を知っているが、防犯指導等を行っていることは知らない」(25.8%)を合わせた【巡回連絡を知っている】と回答した割合は65.6%であった。
- 巡回連絡による防犯指導等の実施については、「知っている」と回答した人の割合が約4割であった。

### 【問7】(ニセ電話詐欺防止対策の認知度・実施状況)

あなたは、「ニセ電話詐欺(※2)」の被害防止対策(在宅時留守番電話設定など)を知っていますか。また、それらの対策を行っていますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

(※2)「ニセ電話詐欺」とは、身内や大手企業の社員、公的機関の職員になりました犯人が、被害者に対して電話をかけるなどして、現金等をだまし取ろうとする特殊詐欺のことです。オレオレ詐欺などが該当します。

(n=1,134)



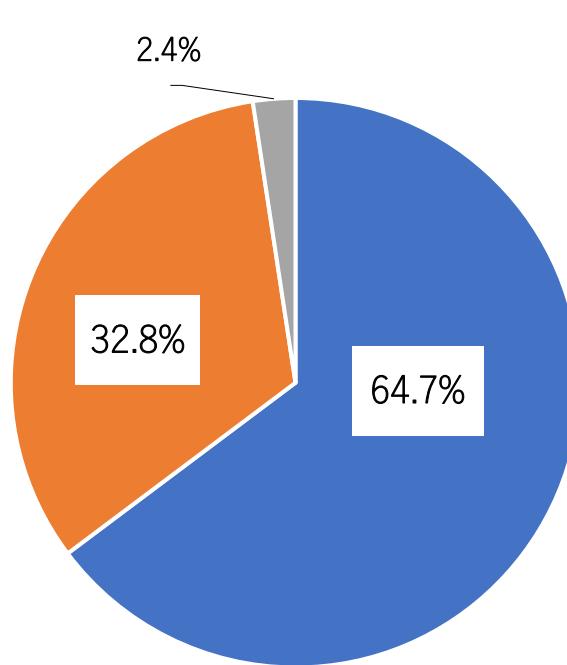
- ニセ電話詐欺防止対策の認知度・実施状況について、「知っていて、対策をしている」(52.1%)、「知っていて、対策をする予定である」(11.9%)、「知っているが、対策をする予定はない」(26.1%)を合わせた【知っている】と回答した割合は約9割であったが、うち約3割は対策を知っていても実施する予定がない。
- 「知っていて、対策をする予定である」(11.9%)、「知っているが、対策をする予定はない」(26.1%)、「知らない」(9.8%)を合わせた【対策していない】と回答した割合は47.8%と、約半数が現在対策を実施していない。

【問8】(SNS型投資詐欺、SNS型ロマンス詐欺手口や被害防止の注意点の認知度・実施状況)  
あなたは、「SNS型投資詐欺(※3)・SNS型ロマンス詐欺(※4)」の手口や被害防止の注意点を知っていますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

(※3)「SNS型投資詐欺」とは、SNSを通じて、暗号資産や株に投資すれば利益が得られる誤信させて、金銭をだまし取る詐欺の手口のことです。

(※4)「SNS型ロマンス詐欺」とは、SNSを通じて、恋愛感情や親近感を抱かせながら投資に誘導し、投資金名目や交際を続ける名目で金銭をだまし取る詐欺の手口のことです。

(n=1,134)



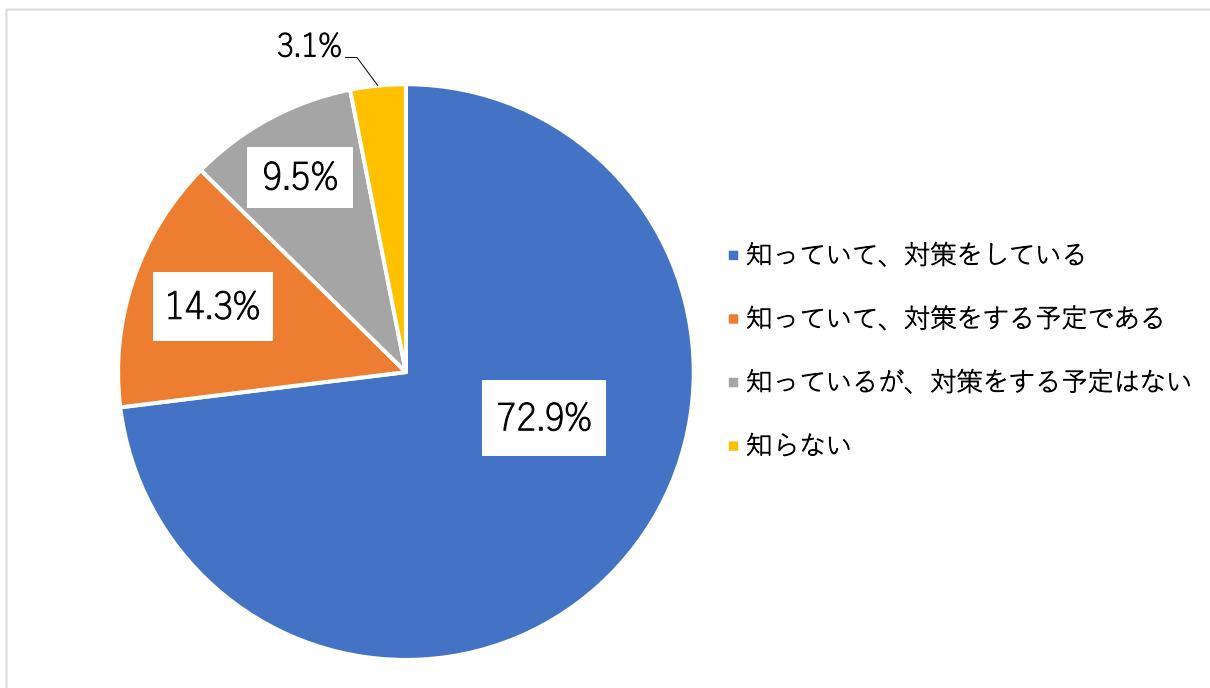
- 手口や注意点を知っていて、注意している
- 手口や注意点はまではよく知らないが、そのような詐欺があることは知っている
- そのような詐欺を知らない

- SNS型投資詐欺、SNS型ロマンス詐欺手口や被害防止の注意点の認知度・実施状況について、「そのような詐欺を知らない」は2.4%であり、SNS型投資詐欺、SNS型ロマンス詐欺については一般に広く認知されており、「手口や注意点を知っていて、注意している」と回答した人の割合は64.7%と半数以上であった。

### 【問9】(交通事故防止対策の認知度・実施状況)

あなたは、「交通事故」の被害防止対策（横断歩道利用、反射材着用、ライト早め点灯、ハイビーム活用、自転車用ヘルメット着用など）を知っていますか。また、それらの対策を行っていますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

(n=1,134)

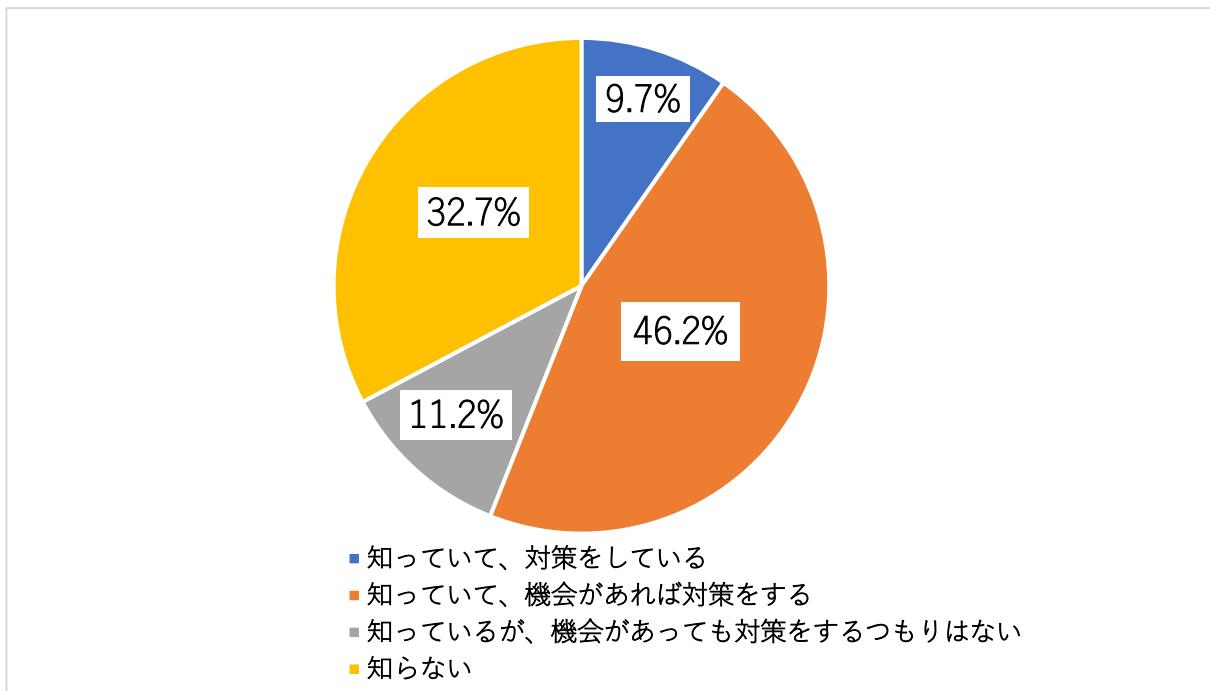


- 交通事故防止対策については、「知らない」と回答した人の割合が3.1%と、一般に広く認知されており、「知っていて、対策をしている」と回答した人の割合は約7割であった。

### 【問10】(来日外国人の不法就労・不法滞在防止対策の認知度・実施状況)

あなたは、「来日外国人の不法就労・不法滞在」の防止対策（雇用時等の在留カード確認、不審外国人情報の警察等への提供など）を知っていますか。また、それらの対策を行っていますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

(n=1,134)



- 来日外国人の不法就労・不法滞在防止対策について、「知っていて、対策をしている」(9.7%)、「知っていて、機会があれば対策をする」(46.2%)、「知っているが、機会があっても対策をするつもりはない」(11.2%)を合わせた【知っている】と回答した人の割合は 67.1% であり、認知度が高い。

### 3 アンケート結果を受け、今後の事業展開・アンケートの活用方法等について

- ・警察からの情報の入手方法として回答が多かった、情報が届きやすいツールでの情報発信を中心に、需要の高い「不審者情報」や「事件事故発生状況」などの身近な情報について、迅速かつ高頻度での情報発信を推進する。
- ・「住宅侵入窃盗」や「自動車、自転車窃盗」、「金属窃盗」については、身近な問題として認識できるよう、県内の発生状況や住宅への侵入手口、被害の多い車種などの情報、また、被害防止対策を効果的に発信する。
- ・「ニセ電話詐欺」、「SNS型投資詐欺、SNS型ロマンス詐欺」については、高額な被害も発生していることから、日々変化する手口や注意点等の情報を適時発信し、引き続き、有効な詐欺防止対策を図る。
- ・「巡回連絡」は長年実施されてきた警察の重要な取組の一つであるため、引き続き推進するとともに、理解と協力を得るための情報発信を行う。
- ・交通事故防止対策については広く認知されており、引き続き、交通用に応じた事故防止対策を情報発信していく。
- ・本結果について、組織全体で情報を共有し、全体的な情報発信活動の効果向上を図る。

## 4 調査の概要

### (1) 調査形態

調査時期：2025年12月2日～2025年12月15日

調査方法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

モニター数：1,666名

回収率：68.1%（回収数1,134名）

回答者の属性：以下の通り

	人数(人)	割合(%)
全体(n)	1134	100.0
地域別	県北	93
	県央	359
	鹿行	64
	県南	357
	県西	78
	県外	183
性別	男性	492
	女性	642
年齢別	16～19歳	6
	20～29歳	47
	30～39歳	143
	40～49歳	282
	50～59歳	301
	60～69歳	232
	70歳以上	123
職業別	自営業	79
	会社員	432
	団体職員	57
	公務員	58
	主婦・主夫	230
	学生	19
	無職	133
	その他	126

### (2) 担当課

茨城県警察本部警務部県民安心センター広報企画係

電話：029-301-0110（代表） E-mail：keisomu1@pref.ibaraki.lg.jp

(注) 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の割合の合計と全体を示す数値が一致しないことがある。  
また、図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。